



PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

<p>(51) 国際特許分類6 A23K 1/16, 1/18</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO00/21382</p> <p>(43) 国際公開日 2000年4月20日(20.04.00)</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP99/05572</p> <p>(22) 国際出願日 1999年10月8日(08.10.99)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平10/287745 1998年10月9日(09.10.98) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 日本食品化工株式会社 (NIHON SHOKUHIN KAKO CO., LTD.)[JP/JP] 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番8号 Tokyo, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 古瀬充宏(FURUSE, Mitsuhiro)[JP/JP] 〒811-3114 福岡県古賀市舞の里四丁目15番16号 Fukuoka, (JP)</p> <p>左向敏紀(SAKO, Toshinori)[JP/JP] 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町一丁目12番9号 レストムサシノ304号 Tokyo, (JP)</p> <p>(74) 代理人 塩澤寿夫, 外(SHIOZAWA, Hisao et al.) 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目5番5号 KRFビル5階 特許事務所サイクス内 Tokyo, (JP)</p>		<p>(81) 指定国 AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>
<p>(54)Title: PET FOODS</p> <p>(54)発明の名称 ペットフード</p> <p>(57) Abstract</p> <p>Pet foods such as dog foods and cat foods containing cyclodextrins such as <math>\beta</math>-cyclodextrin. For example, a pet food containing at least 5 % by weight of fat based on the solid matters and 1 to 15 % by weight of <math>\beta</math>-cyclodextrin based on the solid matters. A method for controlling or reducing the body weight of pets characterized by feeding the pets with the above pet foods in such a manner as to give, for example, 0.1 to 5 g/kg body weight/day of <math>\beta</math>-cyclodextrin. These pet foods are novel ones which are comparable to taste and texture to the existing ones and make it possible to control or reduce the body weight of pets without changing the intake. The above method makes it possible to control or reduce the body weight of pets without damaging their health.</p>		

(57)要約

β-サイクロデキストリン等のサイクロデキストリンを含有するドックフードやキャットフードのようなペットフード。例えば、脂肪の含有量が固形分あたり5重量%以上であり、かつβ-サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり1～15重量%であるペットフード。上記ペットフードを、例えば、1日にβ-サイクロデキストリンの摂取量が体重1kgあたり0.1～5gの範囲となるようにペットに給与することを特徴とするペットの体重の増加を抑制し、又は体重を減少させる方法。従来のペットフードと変わらない味や食感を有し、ペットの嗜好に合うペットフードであって、給与量を今までも同様にして、ペットの体重の増加を抑制し、あるいは減少させることができる新規なペットフード、及びペットの健康を損なうことなくペットの体重の増加を抑制し、あるいは体重を減量させることができる方法を提供できる。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE	アラブ首長国連邦	DM	ドミニカ	KZ	カザフスタン	RU	ロシア
AL	アルバニア	EE	エストニア	LC	セントルシア	SE	スウェーデン
AM	アルメニア	ES	スペイン	LI	リヒテンシュタイン	SG	シンガポール
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LK	スリランカ	SI	スロベニア
AU	オーストラリア	FR	フランス	LR	リベリア	SK	スロヴァキア
AZ	アゼルバイジャン	GA	ガボン	LS	レソト	SL	シエラレオネ
HA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB	英国	LT	リトアニア	SN	セネガル
BB	バルバドス	GD	グレナダ	LU	ルクセンブルグ	SZ	スワジランド
BE	ベルギー	GE	グルジア	LV	ラトヴィア	TD	チャド
BF	ブルキナ・ファソ	GH	ガーナ	MA	モロッコ	TG	トーゴ
BG	ブルガリア	GM	ガンビア	MC	モナコ	TJ	タジキスタン
BJ	ベナン	GN	ギニア	MD	モルドヴァ	TZ	タンザニア
BR	ブラジル	GW	ギニア・ビサウ	MG	マダガスカル	TM	トルクメニスタン
BY	ベラルーシ	GR	ギリシャ	MK	マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR	トルコ
CA	カナダ	HR	クロアチア		共和国	TT	トリニダード・トバゴ
CC	中東アフリカ	HU	ハンガリー	ML	マリ	UA	ウクライナ
CG	コンゴ	ID	インドネシア	MN	モンゴル	UG	ウガンダ
CH	スイス	IE	アイルランド	MR	モリタニア	US	米国
CI	コートジボワール	IL	イスラエル	MW	マラウイ	UZ	ウズベキスタン
CM	カメルーン	IN	インド	MX	メキシコ	VN	ヴェトナム
CN	中国	IS	アイスランド	NE	ニジェール	YU	ユーゴスラビア
CR	コスタ・リカ	IT	イタリア	NL	オランダ	ZA	南アフリカ共和国
CU	キューバ	JP	日本	NO	ノルウェー	ZW	ジンバブエ
CY	キプロス	KE	ケニア	NZ	ニュージーランド		
CZ	チェコ	KG	キルギスタン	PL	ポーランド		
DE	ドイツ	KP	北朝鮮	PT	ポルトガル		
DK	デンマーク	KR	韓国	RO	ルーマニア		

## 明細書

### ペットフード

#### 技術分野

本発明は、ペットフードに関し、より詳しくは、従来のペットフードと食感  
は変わらず、ペットの嗜好に合わせやすく、ダイエット効果があるペットフー  
ドに関する。さらに、本発明は、本発明のペットフードを用いてペットの体重  
の増加を抑制し、又は体重を減少させる方法に関する。

#### 背景技術

近年、犬や猫と言ったペットが家族同様に大切に飼育されているケースが多く、  
食事もそれぞれの動物に合ったペットフードが多種販売されている。これらの  
ペットフードは、栄養価及びペットの嗜好を考慮して調製されている。しかし、  
運動不足と食べ過ぎとから、肥満や糖尿病といった疾病が多発し、飼い主にと  
っては深刻な問題となっている。

そこで、食べ過ぎの抑制のため、給与量を低減させたり、あるいは食物繊維  
を一定量以上含むペットフードを与えることも行われている。しかるに、給与  
量を低減させることで、健康状態を損なうことがあり、また、食物繊維を一定  
量以上含むペットフードは、ペットの嗜好に合わず、食事量が低下して、これ  
も健康状態を損なう原因となる。

そこで本発明の目的は、従来のペットフードと変わらない味や食感を有し、  
ペットの嗜好に合うペットフードであって、給与量を今までも同様にして、ペ  
ットの体重の増加を抑制し、あるいは減少させることができる新規なペットフ

ードを提供することにある。

さらに本発明の目的は、ペットの健康を損なうことなくペットの体重の増加を抑制し、あるいは体重を減量させることができる方法を提供することにある。

これまで体重の増加の抑制あるいは体重の減少を目的としたペットフードは知られていない。例えば、特開平6-217710号公報には、ペットの皮膚疾患の予防や治療を目的としたペットフードが開示されている。この公報には、賦形剤の一つとして以下で説明する本発明のペットフードの成分として使用するサイクロデキストリンが開示されている。しかるに、この公報では、体重の増加の抑制あるいは体重の減少を目的としてサイクロデキストリンを用いることは記載されていない。

また、ラットの摂食行動に対するサイクロデキストリンの影響に関する研究報告はある（例えば、森良一、古瀬充宏、奥村純市（1997）、シクロデキストリンがラットの小腸粘膜の膜成分及び吸収機能に及ぼす影響（p129）第92回日本畜産学会大会）。しかるに、雑食性で胆嚢を有さず、しかも大腸発酵でサイクロデキストリンを分解するラットで得られた研究結果を、肉食性で胆嚢を有さず、大腸が発達せずサイクロデキストリンを分解できない犬等にそのまま当てはめることはできない。

#### 発明の開示

本発明は、サイクロデキストリン、好ましくは $\beta$ -サイクロデキストリンを含有するペットフードである。

特に本発明のペットフードは、ドックフードまたはキャットフードであり、さらに、ジャーキーまたは目的食であることができる。

さらに本発明のペットフードは、脂肪の含有量が固形分あたり5重量%以上であり、かつ $\beta$ -サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり1～15重量%であることが好ましい。

また、本発明は、上記本発明のペットフードをペットに給与することを特徴とするペットの体重の増加を抑制し、又は体重を減少させる方法に関する。さらに本発明は、1日に $\beta$ -サイクロデキストリンの摂取量が体重1kgあたり0.1～5gの範囲となるように請求項1～5のいずれか1項に記載のペットフードをペットに給与することを特徴とするペットの体重の増加を抑制し、又は体重を減少させる方法に関する。

#### 図面の簡単な説明

図1は、実施例1の結果（体重変化）を示す。

図2は、実施例2の結果（体重変化）を示す。

#### 発明を実施するための最良の形態

本発明のペットフードは、サイクロデキストリンを含有する。サイクロデキストリンとしては、公知のものを使用できるが、 $\beta$ -サイクロデキストリンであることが好ましい。

本発明のペットフードは、特に肥満等の問題の多い、犬用のドックフードまたは猫用のキャットフードであることができる。また、ペットフードは、通常の食事として与えられる総合食、おやつとして与えられるジャーキー、疾患を有するペットに対して用いられる特定の成分を有する（または、特定の成分の含有量を制限した）目的食に分類できるが、本発明のペットフードは、ジャーキー

または目的食であることが適当である。

一般に肥満の原因の一つがおやつであり、脂肪分の多いジャーキーのやり過ぎにあると言われている。ペットが喜んで食べると飼い主は製品(ペットフード)の注意書きを無視して、規定量以上のおやつを与える傾向がある。本発明のペットフードであるジャーキーであれば、多少食べ過ぎても体重の増加を抑制し、又は体重を減少させる効果があるので、肥満の抑制になる。

また、ダイエットを主目的として使用する目的食の場合、これまでは、植物繊維を多く含む様な、ペットの嗜好に合わないものが多く、ペットの食欲が低下して、体調を壊す場合があった。ところが、本発明のペットフードである目的食は、食感が従来のペットフードと同様であり、ペットの嗜好に合わないことがなく、さらに、必要により、サイクロデキストリンの包接効果を利用して、香りを付与することもできる。

本発明のペットフードは、サイクロデキストリン以外に、一般のペットフードが含有する蛋白質、脂肪、炭水化物及び繊維質、並びにカルシウム、リン、ナトリウム、カリウム、マグネシウム及びクロライド等の無機分を含有することができる。

さらに本発明のペットフードは、サイクロデキストリンに包接した香料を添加することができる。サイクロデキストリンに包接した香料は、熱による劣化が少ないので、成形の際に熱処理をするジャーキーや殺菌のための熱処理をする目的食に添加すると香料の劣化を抑制できる。

特に、本発明のペットフードがドックフードやキャットフードの場合、脂肪の含有量が固形分あたり5重量%以上、好ましくは10~30重量%であり、かつ $\beta$ -サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり1~15重量%、好ましく

は2～10重量%の範囲であることが好ましい。これは犬や猫が肉食であるため脂肪分を好み、かつ脂肪分は肥満の原因となるので、 $\beta$ -サイクロデキストリンを含有させることで、このように脂肪分の比較的多いペットフードを給与しても肥満防止及びダイエットを可能にすることができるからである。

本発明のペットフードは、ペットが成長期にあるのか、あるいは成長期を過ぎたものか、さらにペットの体調や減量の必要性、さらに本発明のペットフードに含まれるサイクロデキストリン以外の成分等を考慮して適量を給与する。体重1kgあたりに給与するサイクロデキストリンの量が同量であっても、ペットの状態やペットフードのその他の成分やその含有量によって、体重の増加が抑制される場合と体重が減少する場合とがある。本発明のペットフードの使用目的が、減量の必要がなく、肥満の防止（体重の増加の促成）を目的とするのか、減量を目的とするのかを考慮しつつ、本発明のペットフードを1日に1～3回に分けて、 $\beta$ -サイクロデキストリンの場合、その摂取量が体重1kgあたり0.1～5gの範囲、好ましくは0.3～2.5gの範囲となるように与えることが適当である。

本発明の方法は、ペットの体重の増加を抑制し、または体重を減少させる方法であって、上記本発明のペットフードをペットに給与することを特徴とする。上記のように体重1kgあたりに給与するサイクロデキストリンの量が同量であっても、ペットの状態やペットフードのその他の成分によって、体重の増加が抑制される場合と体重が減少する場合とがある。従って、本発明の方法では、ペットの体重の増加を抑制することを目的とするのか、あるいはペットの体重を減少させることを目的とするのかを考慮して、本発明のペットフードを1日に1～3回に分けて、 $\beta$ -サイクロデキストリンの場合、その摂取量が体重1kg

あたり 0.1～5 g の範囲、好ましくは 0.3～2.5 g の範囲となるように与えることが適当である。

### 実施例

以下、本発明を実施例によりさらに説明する。

#### 実施例 1 (肥満抑制に関する実験)

健康なビーグル犬 10 頭を 5 頭ずつの 2 区に分けた。実験開始前の 1 週間はヒルズの c/d ドライを与えた。実験中の食餌は、200 g のヒルズ c/d ドライにラードを 117 g の比率で混合したものを基礎食餌とし、対照区ではそれにコーンスターチを 34 g 添加したもの、試験区では対照区のコーンスターチのすべてを  $\beta$ -CD ( $\beta$ -サイクロデキストリン) 23.4 g で置換したものを与えた。1 日 1 頭当たりの給与量は、基礎食餌 (ヒルズ c/d ドライとラード) の量が代謝体重 (kg0.75) 当たりおよそ 400 kcal となるようにし、成分の比率を変えずに全体の量を調整した。

結果を図 1 に示す。図中、\* は対照区に比して有意に低いことを意味する。図 1 の結果から明らかな様に、 $\beta$ -CD を含むペットフードを与えたビーグル犬では、有意に体重の増加が抑制されている。

尚、ヒルズ c/d ドライの組成 (%) は以下のとおりである。

蛋白質	20.20
脂肪	19.50
炭水化物	46.20
繊維質	2.80



カルシウム	0.60
リン	0.45
ナトリウム	0.26
カリウム	0.43
マグネシウム	0.10
クロライド	0.44
代謝エネルギー (4.24kcal/g)	

## 実施例 2 (肥満解消に関する実験)

ビーグル犬 10 頭に、実験に先立ち 2 カ月間高エネルギー食を与え肥満化させた。実験開始時には各区の平均体重が出来るだけ揃うように 4 区に分けた。対照区に用いた飼料は実験 1 と同様で、 $\beta$ -CD 区では対照区のコーンスターチの 23.4 g を  $\beta$ -CD で置換した飼料を用いた。1 日 1 頭当たりの給与量は、基礎食餌 (ヒルズ c/d ドライとラード) の量が代謝体重 (kg0.75) 当たりおよそ 275 kcal となるようにし、成分の比率を変えずに全体の量を調整した。

結果を図 2 に示す。図 2 の結果から明らかな様に、 $\beta$ -CD を含むペットフードを与えたビーグル犬では、有意に体重が減少している。

## 産業上の利用可能性

本発明によれば、従来のペットフードと変わらない味や食感を有し、ペットの嗜好に合うペットフードであって、給与量を今までも同様にして、ペットの体重の増加を抑制し、あるいは減少させることができる新規なペットフードを提供することができる。

さらに本発明によれば、ペットの健康を損なうことなくペットの体重の増加を抑制し、あるいは体重を減量させることができる方法を提供することができる。

## 請求の範囲

- (1) サイクロデキストリンを含有するペットフード。
- (2) サイクロデキストリンが $\beta$ -サイクロデキストリンである請求項1に記載のペットフード。
- (3) ドックフードまたはキャットフードである請求項1または2に記載のペットフード。
- (4) ジャーキーまたは目的食である請求項1～3のいずれか1項に記載のペットフード。
- (5) 脂肪の含有量が固形分あたり5重量%以上であり、かつ $\beta$ -サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり1～15重量%である請求項1～4のいずれか1項に記載のペットフード。
- (6) 脂肪の含有量が固形分あたり10～30重量%であり、かつ $\beta$ -サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり1～15重量%である請求項1～5のいずれか1項に記載のペットフード。
- (7) 脂肪の含有量が固形分あたり10～30重量%であり、かつ $\beta$ -サイクロデキストリンの含有量が固形分あたり2～10重量%である請求項1～6のいずれか1項に記載のペットフード。
- (8) 請求項1～7のいずれか1項に記載のペットフードをペットに給与することを特徴とするペットの体重の増加を抑制し、又は体重を減少させる方法。
- (9) 1日に $\beta$ -サイクロデキストリンの摂取量が体重1kgあたり0.1～5gの範囲となるように請求項1～7のいずれか1項に記載のペットフードをペットに給与することを特徴とするペットの体重の増加を抑制し、又は体重を減少

させる方法。

(10) 1日に $\beta$ -サイクロデキストリンの摂取量が体重 1kg あたり 0.3  
～2.5g の範囲となるよう給与する請求項9に記載の方法。

図 面

図 1

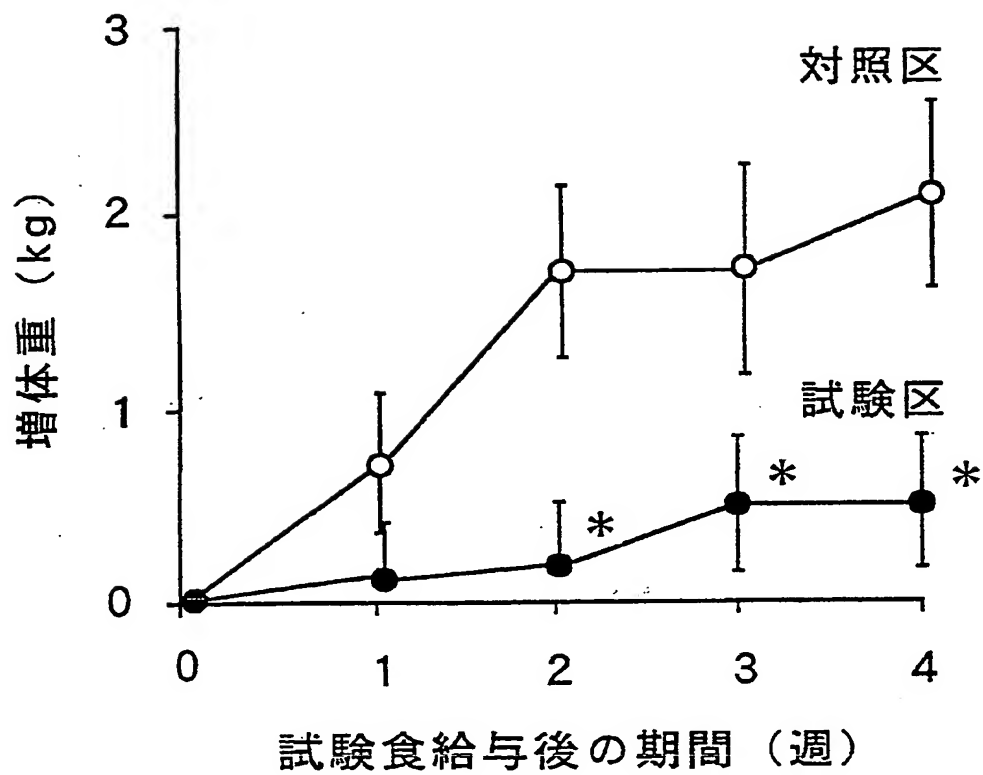
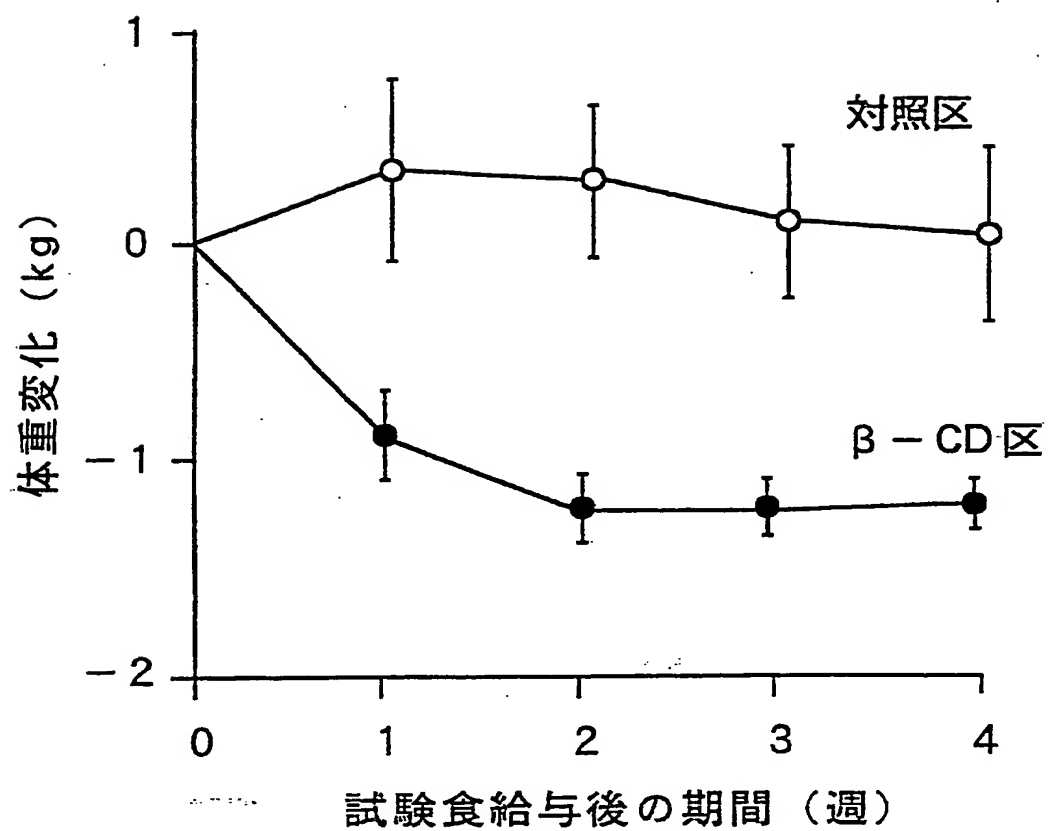


図 2



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/05572

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int.Cl<sup>6</sup> A23K1/16, 1/18

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)  
Int.Cl<sup>6</sup> A23K1/00-1/18

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)  
JICST File (JOIS)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 63-74455, A (Toyo Seikan Kaisha, Ltd.), 4 April, 1988 (04. 04. 88) (Family: none) Claim 1; page 3, upper left column, 2nd to 1st line from the bottom	1-7
X	JP, 4-11865, A (Meiji Sugar Mfg. Co., Ltd.), 16 January, 1992 (16. 01. 92) (Family: none) Page 5, lower right column, line 20 to page 6, upper left column, line 13	1-7
X Y	JP, 6-217710, A (Kyowa Hakko Kogyo Co., Ltd.), 9 August, 1994 (09. 08. 94) & EP, 609056, A3 & US, 5756088, A	1-4 5-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.
 ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search  
20 October, 1999 (20. 10. 99)Date of mailing of the international search report  
2 November, 1999 (02. 11. 99)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## 国際調査報告

国際出願番号 PCT/J P 99/05572

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl. ° A23K 1/16, 1/18

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl. ° A23K 1/00 - 1/18

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	J P, 63-74455, A (東洋製罐株式会社) 11. 4月. 1988 (04. 04. 88) (ファミリーなし) 特許請求の範囲第1項, 第3頁左上欄下から2~1行	1-7
X	J P, 4-11865, A (明治製糖株式会社) 16. 1月. 1992 (16. 01. 92) (ファミリーなし) 第5頁右下欄第20行~第6頁左上欄第13行	1-7
X Y	J P, 6-217710, A (協和醗酵工業株式会社) 9. 8月. 1994 (09. 08. 94) & EP, 609056, A3 & US, 5756088, A	1-4 5-10

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献  
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

20. 10. 99

国際調査報告の発送日

02.11.99

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

長井 啓子



2B

9123

電話番号 03-3581-1101 内線 3236



<b>THOMSON</b>			
<b>DELPHION</b>			
<b>RESEARCH</b>	<b>SERVICES</b>	<b>INSIDE DEL</b>	
<a href="#">Log Out</a>	<a href="#">Work Files</a>	<a href="#">Saved Searches</a>	<a href="#">My Account</a>   <a href="#">Products</a>   <a href="#">Search: Quick/Number Boolean Advanced</a>

## The Delphion Integrated View

Buy Now: [PDF](#) | [More choices...](#)

Tools: Add to Work File: [Create new](#)

View: [Expand Details](#) | [INPADOC](#) | Jump to: [Top](#) Go to: [Derwent...](#)

Title: **WO0021382A1: PET FOODS**

Country: **WO** World Intellectual Property Organization (WIPO)

Kind: **A1** Publ. of the Int. Appl. with Int. search report <sup>1</sup>

Inventor: **FURUSE, Mitsuhiro**; 15-16, Mainosato 4-chome, Koga-shi, Fukuoka 811-3114, Jap;  
**SAKO, Toshinori**; Resutomusashino 304, 12-9, Sakaiminami-cho 1-chome, Musashino 180, Japan

Assignee: **NIHON SHOKUJIN KAKO CO., LTD.**, 33-8, Sendagaya 5-chome, Shibuya-ku, Tokyo Japan  
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

Published / Filed: **April 20, 2000 / Oct. 8, 1999**

Application **WO1999JP0005572**

Number:

IPC Code: **A23K 1/16; A23K 1/18;**

ECLA Code: **A23K1/16L; A23K1/18N;**

Priority Number: Oct. 9, 1998 **JP1998000287745**

Abstract:

Pet foods such as dog foods and cat foods containing cyclodextrins such as  $\beta$ -cyclodextrin. For example, a pet food containing at least 5 % by weight of fat based on the solid matters and 1 to 15 % by weight of  $\beta$ -cyclodextrin based on the solid matters. A method for controlling or reducing the body weight of pets characterized by feeding the pets with the above pet foods in such a manner as to give, for example, 0.1 to 5 g/kg body weight/day of  $\beta$ -cyclodextrin. These pet foods are novel ones which are comparable to taste and texture to the existing ones and make it possible to control or reduce the body weight of pets without changing the intake. The above method makes it possible to control or reduce the body weight of pets without damaging their health.  
[\[Show in French\]](#)

Attorney, Agent or Firm: **SHIOZAWA, Hisao ;**

INPADOC [Show legal status actions](#)

Legal Status:

Designated

Country:

AE AL AM AT AU AZ BA BB BG BR BY CA CH CN CR CU CZ DE DK DM EE ES FI GM HR HU ID IL IN IS KE KG KR KZ LC LK LR LS LT LU LV MD MG MK MN MW N RO RU SD SE SG SI SK SL TJ TM TR TT TZ UA UG US UZ VN YU ZA ZW, **Europe** BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC NL PT SE, **OAPI patent:** BF BJ CF GN GW ML MR NE SN TD TG, **ARIPO patent:** GH GM KE LS MW SD SL SZ TZ UG **Eurasian patent:** AM AZ BY KG KZ MD RU TJ TM

Family: [Show 6 known family members](#)

Other Abstract **DERABS C2000-329054 DERABS C2000-329054**  
Info: